

## 「被災地・被災教会で祈りを合わせる旅」の報告を聞き、話し合ったこと

田中 暁美 (長岡教会)

2月3日の礼拝後に、礼拝出席29名中16名が残り、昨年11月の「被災地への旅」に参加した4名の報告を聞いて私たちにできることを話し合いました。教会として具体的に何をやるかまでには及ばず、とりとめもなく意見を出しただけですが、これを読んでくださる皆様のこれからの支援のヒントにいただければ幸いです。

若松栄町教会では「会津放射能情報センター」を立ち上げ、ドイツからの献金で購入した食品放射能測定器や自動車に取り付けられるガイガー計数器などを用いて、放射能汚染という災害に対処しています。「しゃべり場」で不安な気持ちを分かち合い、学校や行政への働きかけ方をともに考え、福島原発訴訟団に連帯しているとのこと。同センターの会員になって、会費で支援することもできますし、活動報告を読み、学びをともにすることもできます。安全な食材を送ることも喜ばれると思います。

新生釜石教会では、祈禱会に参加しました。一昨年前のクリスマスに、私たちの鳩の会(婦人会)では新生釜石教会の8名の婦人会員おひとりおひとりに手作りの鍋帽子を寄せ書きとともにプレゼントさせていただきましたが、今回婦人会長さんにお目にかかれて交流を深めることができました。これからも交流を続けたい気持ちはありますが、壁も床も下張りのままの教会のご様子からお疲れが察せられて、あえて中断しています。被災地の歩みに合わせて、祈り続けたいものです。

釜石の公園には仮設の飲食店街があり、2年たっても以前あった場所に店を出す許可も降りず、出店の目処も立たないという状況の中、明るくがんばっておられました。買物してお金を被災地におとすことも復興につながりますので、食事をしたりおみやげを買ったりしてきました。

仙台の東北教区センターエマオには立ち寄れなくて残念でしたが、津波で仮設住宅に入られている荒浜地区の方々に「お茶っこ広場」を提供しているのでそちらのボランティアと、夕食作りのボランティアを募集しています。仙台へは新潟から高速バスで行くことができ、エマオの周辺にはビジネスホテルもありますし、となりの青葉荘教会でも宿泊が可能です。3,4名1組になり、行ってみてもよいのではないのでしょうか。地区婦人会連合でも呼びかけてくださるよう提案したいと思います。

津波で広大な空地となった荒浜地区では、慰霊碑の前で祈りを合わせました。テレビなどの映像で何度も見た光景なのですが、やはり自分の目で見ると印象が違います。これからも長く支援していくには、ぜひ一度現地を訪れ、心に刻むことが大切だと思いました。私たちの教会では1口300円で2015年度まで欄を設けた「日本キリスト教団東日本大震災救援募金」の袋でひとりひとりが月々捧げていますが、その他にミニバザーの収益なども考えていけたらと思います。

一方で私たちと同じ地区内にはまだ中越地震で被災し借財を返し続けている教会もあります。こちらの支援を先に終わらせるべきではないのでしょうか。また、震災がれきの受け入れや、柏崎刈羽原発から30kmというところにある教会として、どういう姿勢であるべきかという課題もあり、考えていかなければなりません。

### 日本基督教団東日本大震災救援募金

※現在の募金状況(2013年2月25日現在)

¥493,247,918 「東日本大震災救援募金」

¥233,771,283 「東日本大震災海外献金プロジェクト」

### 3月のボランティア募集

3月18日(月)~22日(金)

問合せ 小林祥人 (090-3529-5140)

どしどしご応募ください

## 関東教区ボランティアガイド 第1弾

関東教区被災支援ボランティアに関心があるけど、いろいろ不安があって、という声を耳にします。そこで「よくある質問」にお答えします。

Q. 教区が定めている期間に参加できないのですが…

A. 関東教区では仙台エマオにボランティア・ワーカーが少なくなる時期にボランティアを派遣したいと考えています。しかしどうしてもそこで都合がつかないという方もいらっしゃるかと思います。その場合はエマオに直接お問い合わせください。受け入れが可能となれば、関東教区からの派遣ということで参加して頂けます。参加が決まりましたら被災支援委員会・小林までご一報ください。また交通費の申請は関東教区事務所までお願いします。

Q. どんな作業があるのでしょうか？

A. 震災直後のような、巨大な瓦礫の撤去といった作業はありません。しかし重機では取り除くことのできないような細かな瓦礫を丹念に集めたり、また被災された方々が概ね農家であるため、「土地の回復」を目指しての農作業があります。そしていまだ心の傷が癒えない毎日過ごしている現地の方々との交流も大切です。このほかにエマオのスタッフやボランティア・ワーカーの夕食を準備する「調理ボランティア」もあります。こちらは3人以上のチームで参加して頂きます。悪天候の際には、外に出ることを見合わせる場合もあります(当日の朝判断します)。その際はエマオ館内の清掃や郵便物の発送など、室内での作業をします。

Q. 食事や宿泊が心配なのですが

A. 朝食はエマオでコーンフレークなどをいただきます。昼は各自あらかじめ買い求めるなど用意した弁当を現地で食べます。夕食はエマオ館内で調理ボランティアの方々が用意して下さいます。宿泊は、女性は青葉荘教会の母子室、男性はアパート一室に寝泊まりします(寝袋持参。一泊につき300円を献金します)。ともにエマオの隣りの建物です。入浴は銭湯を利用します。この他、エマオ近くにはビジネス・ホテルなどもあるので、そちらを利用していただくことも可能です(宿泊費は自己負担となります)。

この他、ご不明な点は、被災支援委員会・小林(090-3529-5140)まで。